

「長崎デザインアワード 2015」選定結果

【開催目的】

「長崎デザインアワード 2015」は、長崎県内で企画、開発された商品の中から優れたデザインを選定・表彰し、県内企業のデザイン開発意欲やデザイン力の向上に寄与することを目的として開催しております。

【賞】

大 賞	1 点
金 賞	1 点
銀 賞	1 点
銅 賞	1 点
長崎賞	3 点
奨励賞	7 点
選定委員特別賞	5 点
入 賞	計 19 点

入 選 27 点

【選定委員】(50 音順) (※委員長は選定会時に選出)

委員長	山村 真一	(株)コボ 代表取締役社長 [プロダクトデザイナー]
委 員	かねこしんぞう	(株)インデックスプラス 代表取締役 [デザインディレクター]
	左合 ひとみ	(株)左合ひとみデザイン室 代表 [グラフィックデザイナー]
	塚本 カナエ	Kanaé Design Labo 代表 [プロダクトデザイナー]
	森田 昌嗣	九州大学大学院芸術工学研究院 教授 [デザインディレクター]

【募集部門】

1. 生活デザイン部門 (生活雑貨、食器、文具、衣料品、家具、インテリア用品、他)
2. パッケージデザイン部門 (商品のパッケージ、箱、容器、ラベル、包装、他)
3. 工業デザイン部門 (車椅子、福祉用具、住宅設備機器、医療機器、工具、他)

【募集対象】

長崎県内で企画・開発された上記3分野に該当する商品のうち、反復生産が可能なもので、平成26年4月1日から平成27年7月31日までに商品化され、現在も販売されているもの。(但し平成26年4月1日以前に商品化されたもので、上記期間内にデザインを改良した商品は対象。)

【応募資格】

県内に事業所を置く企業、団体、個人

【応募状況】

1. 応募総数 : 137 点 (77 企業)
2. 部門別応募一覧

部 門	点数	企業数
1)生活デザイン	76	37
2)パッケージデザイン	56	39
3)工業デザイン	5	2
合 計	137	78 (※うち 1 社複数部門応募)

〇入賞：19 点

賞 名	受賞者	事業所	タイトル	所在地	部 門
大 賞	岩 永 耕 一	有限会社 岩永製陶	波佐見焼 手洗鉢	東彼杵郡	工 業 デ ザ イ ン 部 門
金 賞	山 口 和 広	台丹窯 山口製陶所	波佐見焼 紅筆	東彼杵郡	生 活 デ ザ イ ン 部 門
銀 賞	小 川 孝 行	有限会社 新緑	長崎ブレンド茶 “和” Infinitea	長崎市	パッケージデザイン部門
銅 賞	小 橋 めぐみ	株式会社 和山	some collection（染付 陶磁器アクセサリー） meek & TORI	東彼杵郡	生 活 デ ザ イ ン 部 門
長 崎 賞	谷 良 一	一般財団法人 小値賀 町担い手公社	おぢか島 落花生 とう ふ	北松浦郡	パッケージデザイン部門
長 崎 賞	石 丸 慶 太	石丸陶芸株式会社	ペアくらわんか碗セット	東彼杵郡	生 活 デ ザ イ ン 部 門
長 崎 賞	福 田 隆 一	ギャラリーかぜ	長崎帆船帆布トートバッ グ 「南蛮人」	長崎市	生 活 デ ザ イ ン 部 門
奨 励 賞	出 口 浩 隆	五島市木工協議会	GOTO WOOD／五島産 椿のバターナイフ・五島 産椿のわっか	五島市	パッケージデザイン部門
奨 励 賞	松 尾 一 朗	有限会社 松尾商店	Swatch どんぶりプレ ミアム	東彼杵郡	生 活 デ ザ イ ン 部 門
奨 励 賞	井 上 昌 一	千寿庵 長崎屋	長崎オマガリにゃまがし	長崎市	パッケージデザイン部門
奨 励 賞	金 氏 葉 子	有限会社 嘉泉製陶所	ましろ（冷酒用コップ） 舞・剣	佐世保市	生 活 デ ザ イ ン 部 門
奨 励 賞	中 村 ま ほ	HOP	nagasaki-no neco ほ ち袋	長崎市	生 活 デ ザ イ ン 部 門
奨 励 賞	長 谷 川 武 雄	長谷川陶磁器工房	極みの茶器シリーズ	諫早市	生 活 デ ザ イ ン 部 門
奨 励 賞	荒 木 智 佳 子	ナガサキ・マジェンタ 100	石炭アクセサリー 「軍 艦島 forever コールス トン」	長崎市	生 活 デ ザ イ ン 部 門
選定委員特別賞 かねこしんぞう賞	佐 用 伸 二	社会福祉法人南高愛隣 会 コロニーエンター プライズ	雲仙大地の恵み 十六穀 素麺	雲仙市	パッケージデザイン部門
選定委員特別賞 左 合 ひとみ 賞	眞 崎 善 太	有限会社 一真陶苑	26cm 丸プレート（漆木 台付・木台付）	東彼杵郡	生 活 デ ザ イ ン 部 門
選定委員特別賞 塚 本 カ ナ エ 賞	西 島 直 孝	スローフードファクト リー 長崎あぐりの丘	27 品目アレルギー対応 長崎産米粉 100%防災 備蓄パン「もちりばん だ」	長崎市	パッケージデザイン部門
選定委員特別賞 森 田 昌 嗣 賞	城 谷 雅 司	有限会社 シロタニ木 工	格子仏壇	雲仙市	生 活 デ ザ イ ン 部 門
選定委員特別賞 山 村 真 一 賞	阪 本 や す き	白山陶器株式会社	S-line	東彼杵郡	生 活 デ ザ イ ン 部 門

【審査講評】

●総 評

やまむら しんいち
選定委員長 山村 真一

今回は、応募総数が前回の 74 点から大きく伸びて 137 点となり、内容も伝統的なデザインから新しい生活提案のデザイン、人や環境に配慮されたデザイン等、全体的にレベルが高い。商品ジャンルも陶磁器、食品、アクセサリー、インテリア用品、下着等、多岐にわたっており、江戸時代、国内唯一の貿易港から世界の技術や生活様式を広く受け入れてきた長崎ならではのデザインと言える。低成長時代から、新たに生まれてくる豊かな生活を予感させられる優れたデザインも多く見られ、地域創生時代に向けてこのアワードが果たす役割を考えさせられる選定会であった。

●大 賞：波佐見焼 手洗鉢

やまむら しんいち
講評：選定委員 山村 真一

今、豊かな生活感を求めて、ライフスタイルのトレンドはインテリアデザインだと云われている。インテリアの中でも重要な位置づけである水廻り、その主役はまさしく洗面鉢だろう。毎朝、シンプルで美しいこの波佐見焼の洗面鉢なら、きっと豊かな生活を約束してくれるに違いない。今話題のジャパンデザインの中で、陶磁器の産地である長崎から、この洗面鉢を世界に向けてぜひ発信して欲しい。また環境に配慮した素材を積極的に活用した点も含め、高い評価を得て大賞となった。



●金 賞：波佐見焼 紅筆

講評：選定委員 ^{つかもと} 塚本カナエ

技術的に秀逸な陶磁器製の紅筆である。円形の蓋に対して三角形の筆のボディがぴったり合うようにしている点は、アイデアが素晴らしい。また、円形の蓋の型作り、鑄込み、極小のたこ唐草など、伝統的な熟練した技術に昨今の新しい技術を導入し、それらを上手く融合させている点も素晴らしい。今後は、携帯時の安心の為に、袋が付き、様々な形の筆や伝統的な柄から現代的な柄が揃うと、更に商品力が高まると思う。



●銀 賞：長崎ブレンド茶 “和” Infinitea

講評：選定委員 かねこしんぞう

生姜、小松菜、にんじん、レモングラス、ミント、パンダ（黒豆）。緑茶と各種6種類の食材とのブレンド茶。日本のお茶は遣唐使の時代に禅僧、栄西が平戸に禅と茶を持ち帰ったことから始まった。その緑茶をより楽しく、新しい市場を拓き、「和」と「洋」がほど良く組合わされた商品で和柄のデザインと長崎らしい味を生み出してゆく先取の姿勢が伝わっている。特に「日本茶×パンダ？」はすでに東京都美術館の依頼により、上野のパンダをモチーフとした、国産ほうじ茶に黒豆と熊笹をブレンドして、自社の日本茶インストラクターがブレンドした商品で、大きな評価を得ている。



●銅 賞：^{そめ}some collection（染付陶磁器アクセサリー）meek & TORI

講評：選定委員 ^{さこう}左合ひとみ

白地に藍の染付を施した陶磁器を、ピアス、ヘアゴム、ボタンなどのカジュアルなアクセサリーに展開させたシリーズ。正方形や円などに施されたシンプルな絵柄により、モダンなテイストに仕上がっている。中でも、陶磁器ならではのふっくらとした形状と質感をうまく活かした、鳥のピンバッジが秀逸。着けたときの軽さという重要なポイントに加えて、価格の手頃さも評価に値する。陶磁器アクセサリーの分野の可能性を切り開く大きな可能性を感じた。

